

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

- 1 附属機関等の会議の名称
令和2年度 第1回 松川町上下水道事業経営審議会
- 2 開催日時
令和3年1月13日(水) 午後6時30分から午後8時20分まで
- 3 開催場所
松川町役場 2階 協議会室
- 4 出席者氏名
(委員)
中平文夫委員 大蔵洋委員 高坂義宏委員 大澤今男委員 清水正育委員
吉澤良子委員 小澤文人委員 高坂龍夫委員 村田肇委員 松下正博委員

宮下智博町長 (事務局) 池上徹課長 田辺哲哉係長 宮下祥司係長 大澤充係長
- 5 議題(公開又は非公開の別) 公開
(1) 下水道事業の概要と経営状況について
(2) 水道事業の概要と経営状況について
- 6 非公開の理由(会議を非公開とした場合)
—
- 7 傍聴人の数
0人
- 8 会議資料の名称
下水道事業
・松川町下水道事業の概要
・令和元年度松川町下水道事業会計決算概要
・松川町下水道事業経営改革の取り組み状況
・参考資料

水道事業
・松川町水道事業の概要
・給水人口の推移
・企業債元利償還予定額と現在高の推移
・水道事業会計の実績と今後の見込み
・宮ヶ瀬橋架替えに伴う水道管布設替え配管平面図

9 審議の概要

(1) 開会

(2) あいさつ

(3) 上下水道事業経営審議会について

(4) 正副会長の選任について

会 長 清水 正育 委員

副会長 吉澤 良子 委員

(5) 下水道事業の概要と経営状況について

【質疑等】

(委 員) 農業集落排水の処理区統合は決定事項か。

(事 務 局) 大島、名子南処理区は統合するつもりで準備を進めている。上片桐上、上片桐下処理区の統合については今年度中に方針を決定する。

(委 員) 統合対象施設の補助金返還や企業債の繰上償還、既設管路の流下能力等は大丈夫なのか。

(事 務 局) 統合対象施設は補助金返還と繰上償還が発生しない形で後利用したいと考えている。既設管路の流下能力等接続方法は全体計画の中で検討しているため問題ない。

(委 員) 農業集落排水の処理区統合事業を含めた経営予測はしているか。

(事 務 局) 処理区を現状維持した場合と統合した場合の費用比較は行っている。統合事業を含めた経営予測については、今年度改定を行う経営戦略へ反映させる。

(委 員) 収入確保のために水洗化率向上は重要だと思うが、どのような対策を行っているか。

(事 務 局) 戸別訪問を行い、訪問履歴と未接続の理由をリスト化して整理している。今年度は新型コロナウイルス流行で戸別訪問ができないため、ケーブルテレビで下水道啓発番組を制作放映した。

(委 員) 未接続の理由はどのようなものが多いのか。またそういった理由の方に接続を促すような補助等はあるか。

(事 務 局) 主に高齢世帯の未接続が多い。水洗化費用を借入した場合の利子補給制度があるがあまり利用されていないため、別の手段の必要性を感じている。

(委 員) 集合処理区域外から下水道接続する場合は自己負担になると思うが、費用補助はないか。なければ補助を出すよう考えてほしい。

(事 務 局) 上下水道とも接続に伴い本管工事が必要となる場合は自己負担となる。汚水処理については、集合処理区域外は合併処理浄化槽の補助対象となるので個別処理でお願いしたい。

(6) 水道事業の概要と経営状況について

【質疑等】

- (委 員) 町の水道料金は使用水量が増えると単価が高くなる累進制が採られているが、昔と違い若い世代のみの家庭が増えている。料金改定の際は若い世代に負担の少ない料金体系を検討してほしい。
- (委 員) 片桐ダム of 維持経費等に係る負担金が発生していると思うが、近年の状況や今後の見通しはどうか。
- (事 務 局) 片桐ダム of 維持経費等の9.8%を負担している。今年度はダム湖の排砂工事があり600万円程を負担している。数年前に堰堤改良工事が5ヵ年にわたり実施されたことがあったが、今後の建設改良計画は今のところなく、来年度も同額程度の負担を予定している。
- (委 員) 片桐ダム of 負担金は大きな金額になるが、ダムのおかげで松川町は水道の安定供給ができています。ダムと水道の関係は広く知ってもらった方が良い。

(8) 次回の日程について

2月16日、17日、19日のいずれか

(9) その他 なし

(10) 閉会